



令和 元年 10月 1日 発行
KKR札幌医療センター
〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
電話(011)822-1811
<http://www.kkr-smc.com>

(2019-10号)



白内障ってどんな病気？

眼科医員 酒井 正人

白内障という病気は皆さんも聞いたことがあると思います。白内障とは目の中にある「水晶体」というカメラのレンズに相当する部分が濁ってしまい、見え方が悪くなってしまいう病気です。

白内障は加齢とともに誰にでも起こる病気で、60代では約70%、70代で80%、80代ではほぼ100%の人に程度の差はあれ白内障が生じているという報告があります。また、糖尿病やアトピー性皮膚炎、外傷などに伴って生じることもあり、その場合はより若い年代で発症することがあります。

症状は「目がかすむ」、「膜がかかったように見える」、「照明や車のライトがまぶしい」、「ものがダブって見える」というものが多いです。

現時点では白内障を治す目薬や飲み薬はなく、手術することが唯一の治療法となっています。

手術では濁った水晶体を取り除き、代わりに人工の眼内レンズを目の中に入れます。基本的に局所麻酔で行うので全身への負担が少なく、手術時間も多くの場合は20分程度で終了します。現在は白内障手術の進歩によりわずか2~3mmの傷口を開けるだけで手術ができるようになりました。そのため目への負担も少なく日帰りや1~2泊の短期入院で行うことができ、退院後の日常生活の制限もほとんどありません。

白内障が進行しすぎている、組織が弱くなっているときは傷口を大きく開けたり、眼内レンズを目に直接縫い付けるような手術が必要になることもあります。その場合は手術時間が長くなることや、見え方が改善するまでに時間がかかることがあります。

一度入れた眼内レンズは何か問題が起こらない限り半永久的に交換の必要はありません。

最近、多焦点眼内レンズが話題になっています。従来のレンズよりもピントの合う距離が増えるため、手術後にメガネをかける必要性が減るなどのメリットがあります。しかし、手術後に光が眩しく感じるようになることがあるなどデメリットもあるので眼科医とよく相談してレンズの選択をしてください。

当院は≪敷地内全面禁煙≫となっております

患者サポートセンター 在宅看護室のご紹介

患者サポートセンター 在宅看護室主任 平田 公子.

日頃から当院をご利用いただきまして、ありがとうございます。皆さんはKKR札幌医療センターに「訪問看護」があることご存じでしょうか。

ここでは、訪問看護についてご紹介させていただきます。

当院では、平成4年から外来看護師による訪問看護が始まり、現在は「患者サポートセンター 在宅看護室 たんぽぽ」として活動しています。患者サポートセンターは、地域連携室・医療相談室・がん相談・在宅看護室からなっており、それぞれ専門のスタッフが患者さまのご意向にそって安心して生活できるよう支援させていただいています。在宅看護室スタッフは看護師3名で構成され、訪問看護車を利用して、日々患者様のご自宅に伺い、看護サービスをしています。

サービス内容としては、一般状態（血圧や脈などの測定）の観察、内服薬の管理、入浴などの介助、福祉用具のアドバイスなど様々です。

活動時間は、平日午前9時～午後5時までですが、夜間や休日などの電話対応や緊急訪問などもさせていただいて24時間対応できる体制になっています。病気を抱えての自宅での生活は、今までの生活と変化することが多いです。

- ・家に帰りたけれど、病状が悪化したら心配だ。
- ・介護サービスなど聞いたことがあるけれど、よくわからない。
- ・一人でお風呂が入れない。
- ・夜間・休日など体調が悪くなったらどうしよう。

そんな時、気軽に在宅看護室に御相談ください。入院中は病棟スタッフに、外来受診時などには、外来スタッフに直接声をかけていただいてもかまいません。また、下記に直接連絡いただいても大丈夫です。安心して在宅での生活が送れるよう、各専門スタッフと連携をとりながら一緒に考え、サポートしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。



患者サポートセンター在宅看護室
(直通) 011-832-3072